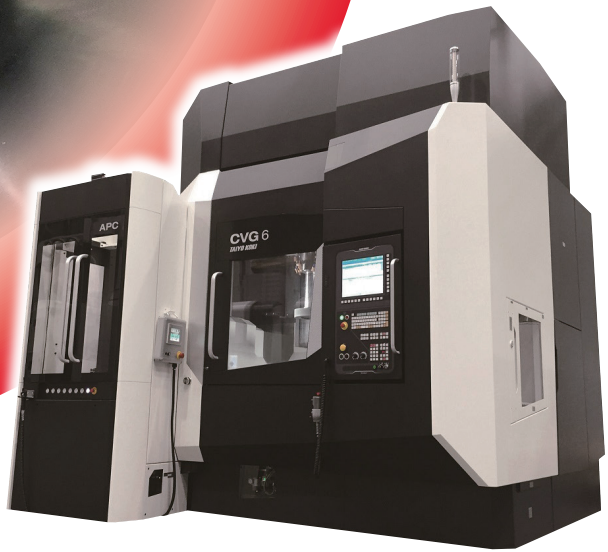
TAIYO KOKI

第35期

Business Report

2019年1月1日▶2019年12月31日



株式会社 太陽工機

証券コード：6164

企業理念

私たちは、
先進的技術を駆使した
製品を創造し、
精密加工を通して
世界の製造業の発展に
貢献する

経営方針

1. 内外の法令を遵守し、フェアな企業活動に徹する
2. イノベーションを追求し、最先端の技術力と提案力で社会に貢献する
3. 企業価値を高め、顧客、従業員、株主、その他のステークホルダーに報いる

株主の皆様へ To Our Shareholders

売上高は太陽工機設立以来初の100億円を突破し、過去最高を達成いたしました。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年度の売上高は設立以来初の100億円を突破し、過去最高を達成いたしました。

受注高につきましては、長引く米中貿易摩擦の影響を受け、好調であった前期に比べ45.3%の減少となりました。特に前期好調であった国内の半導体関連企業や自動車関連企業において設備投資を様子見する動きが顕著となったことが影響いたしました。

こうした状況の中でも、当社は本社工場を利用したプライベートショーを開催した他、メカトロテックジャパン2019や海外の主要な国際工作機械見本市に出展し、国内外のお客様に当社製品の技術力をアピールすることでユーザー層の拡大と設備投資ニーズの掘り起こしを行い、受注及び引合の獲得につなげてまいりました。

当期の業績につきましては、受注高は6,969百万円(前期比45.3%減)となりました。売上高は、10,894百万円(前期比12.0%増)となりました。利益面では、営業利益1,782百万円(前期比6.7%増)、経常利益1,788百万円(前期比7.7%増)、当期純利益1,226百万円(前期比6.0%増)となりました。

当期の配当につきましては、中間配当25円、期末配当25円の年間配当50円を実施することとなりました。

2020年度につきましては、工作機械業界では次世代通信規格5G等による半導体関連企業からの投資が期待されるものの、引き続き米中貿易摩擦の影響による不透明感があるため、厳しい状態が続くと予想されます。

当社におきましても、2020年の上期の受注環境は厳しい状態が続くものと予想しておりますが、市場ニーズを捉えた製品の投入を軸に営業展開を図り、需要の発掘及び当社製品の普及拡大に注力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年3月

代表取締役社長 渡辺　剛

トップインタビュー　Top Interview

渡辺剛社長を新たな経営トップとして迎えた太陽工機の2019年度。ここでは渡辺社長への取材を通じ、工作機械業界の低迷が懸念される中、いかなる道筋で太陽工機をさらに上の経営ステージへ導いていくのか等についてご説明します。

Q1 市場環境など2019年度の総括をお願いいたします。

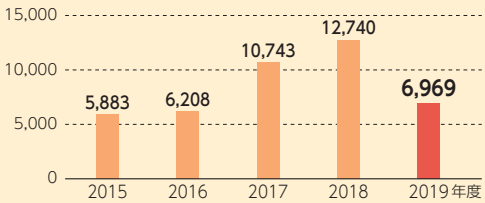
A 2019年度の売上のベースとなる2018年度の受注高が127億40百万円にまで到達していたこと等もあり、2019年度の売上高は4期連続して過去最高を更新し、太陽工機設立以来初の100億円を達成することができました。また利益面でも、売上高の増加に伴い過去最高の結果となりました。

当事業年度の受注状況については、長引く米中貿易摩擦等の世界情勢の影響を受け、工作機械業界は総じて厳しい状況で推移しました。当社もこうした影響を避けられず、受注全体の半分近くを占める産業機械関連企業向け、中でも特に半導体・ロボット業

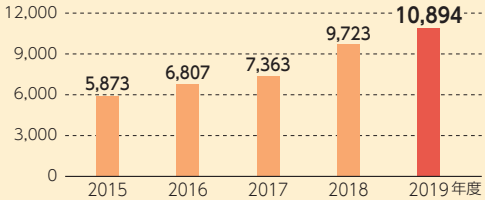
財務ハイライト

※2015年度は決算期変更のため2015年4月1日から同年12月31日までの9ヶ月決算となっております。

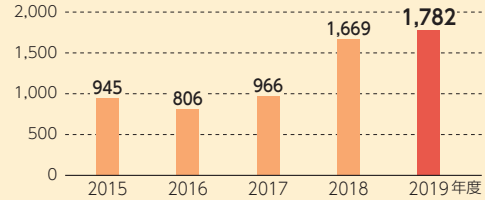
■受注高　(単位:百万円)



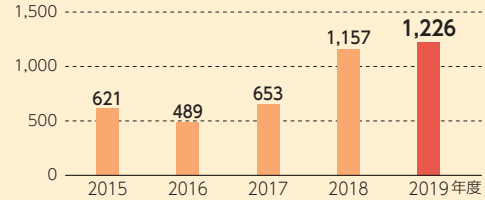
■売上高　(単位:百万円)



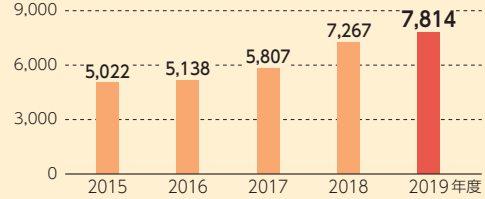
■営業利益　(単位:百万円)



■当期純利益　(単位:百万円)



■総資産　(単位:百万円)



(注)金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

界が大きく減少しました。また、これまで好調だった自動車業界においても設備投資を様子見する動きが顕著になったことも加わり、2019年度の受注高は前年度比45.3%減の69億69百万円となりました。受注減少の内訳を国内と海外で比較すると、国内の落ち込みの方が大きく、受注全体の約7割を国内が占める当社としては、一国一地域に左右されない強い体制作りを行っていく必要があります。今後は海外をより積極的に開拓していかなければならないと考えています。

Q2 あらためまして渡辺社長が考える太陽工機の強さの基本とは何でしょうか。

A 簡潔に申し上げれば、「工場でお客様が困っていることを解決する機械を作ること」。これこそが太陽工機という会社の根幹を成す不変のスタンスであります。

時代が進むにつれてお客様の環境も変化し、それまで自社で賄っていた生産技術の開発やシステム構築について、今やそのほぼすべてを外部メーカーへ任せる動きが主流となる時代になってきました。そのような時代の中、当社は設立以来、お客様の工場に機械を納入した後、お客様がすぐに工作物を加工できる機械を納入する、そして当社が加工の精度保証までする、というフルターンキー・ビジネスを行わせていただいているのです。このように、お客様の生産技術の手助けをすることが工作機械メーカーの仕事だとも思いますので、そこの原点は、今後もしっかりと引き継いでまいりたいと考えています。

Q3 それでは今後の製品展開の方向性について教えてください。

A 先に申し上げた当社の根幹を成す不変のスタンスを踏まえた上で、今後の製品展開にあたっては大きく2つの方向性を計画しています。

1点目が「自動機・システム機の投入拡大」です。これからの時代、人手不足問題や労働時間の短縮傾向等も相まって、ヒトが加工する工作物を機械に取り付け、取り外しを行う従来機では、どうしても決まった時間内での生産量が限られてしまいます。これに対して、機械にロボットと工作物のストッカーを設置した自動機・システム機を導入すれば、夜間に自動運転することで、人件費は抑えながら生産量を増加でき、企業にとって大きなメリットが生まれます。

「機械+自動化のトータルパッケージ提案が増えると、従来機よりも機械の設計、製造にかかるコストが増えて(当社の)生産現場に影響が出るのでは?」と問われることもありますが、各機種の仕様の共通化等によって当社生産現場に支障をきたすことなく、自動機・システム機の拡販を進めることができています。2019年度の売上全体に占める自動機・システム機の比率は42.5%ですが、増え

続ける自動化・システム化の要望に積極的に対応しながら、2030年度では売上全体に占める自動機・システム機の比率を60~70%にしていく方針です。

2点目が「汎用機のラインナップ強化」です。同じ機械・モデルであってもお客様によって違う仕様の機械ができあがるという、いわば特注要素を取り入れられるのが当社の強みの1つである一方、ハイエンドの特注機一辺倒になると、当社生産現場に何らかの支障をきたすのもまた事実です。このようなリスクを回避すべく、今後当社においては、Vertical Mate®シリーズ(2010年~)に代表されるようなロット生産が可能な新たな汎用機の開発を進めていきたいと考えています。汎用機、ハイエンド機といったさまざまなタイプの機械を作ることにより、当社の生産工程のバランスを図ることができ、また効率の良い市場開拓・売上拡大へ繋がっていくものと捉えています。

Q4 2020年度の見通しなど、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 現時点での受注残高は、期間で申し上げると約半年分を抱えている状況です。2020年度の受注見込みとしては、米中貿易摩擦の最終出口がまだまだ見えないことや新型コロナウイルスによる中国での生産ストップの影響等により、企業活動・景気の立ち上がりは遅くなるのではないかと見ています。

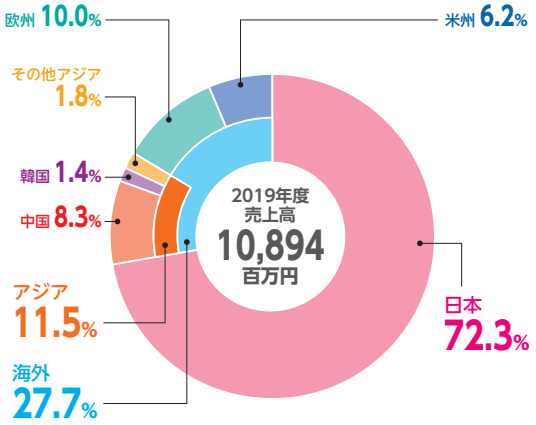
2020年度トータルでは辛抱の一年となるのではないかと感じていますが、当社は決して受け身になることなく、企業の設備投資意欲が回復してきた時にそのチャンスを確実に掴めるよう、これまでご説明した取り組みをはじめ、大企業や中小企業向けといったユーザー規模別戦略の推進、海外開拓へ向けて人材強化やDMG森精機との連携を強化することで、持続的成長の可能性を徹底追求してまいります。

なお最後になりましたが、このたびの期末配当は1株当たり25円とさせていただきました。これにより当期の1株当たり年間配当金は、既に実施した中間配当金25円と合わせて50円となります。2018年度の年間配当は80円でしたが、当社では2019年1月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、実質的には前年度比25%の増配となります。

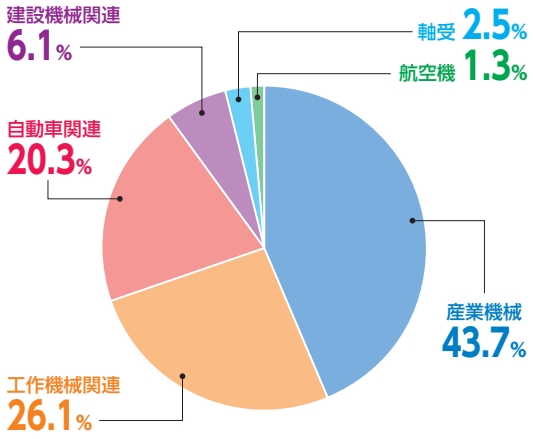
株主の皆様におかれましては、当社の更なる成長にご期待いただき、今後とも末長くご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業概況

地域別売上構成比

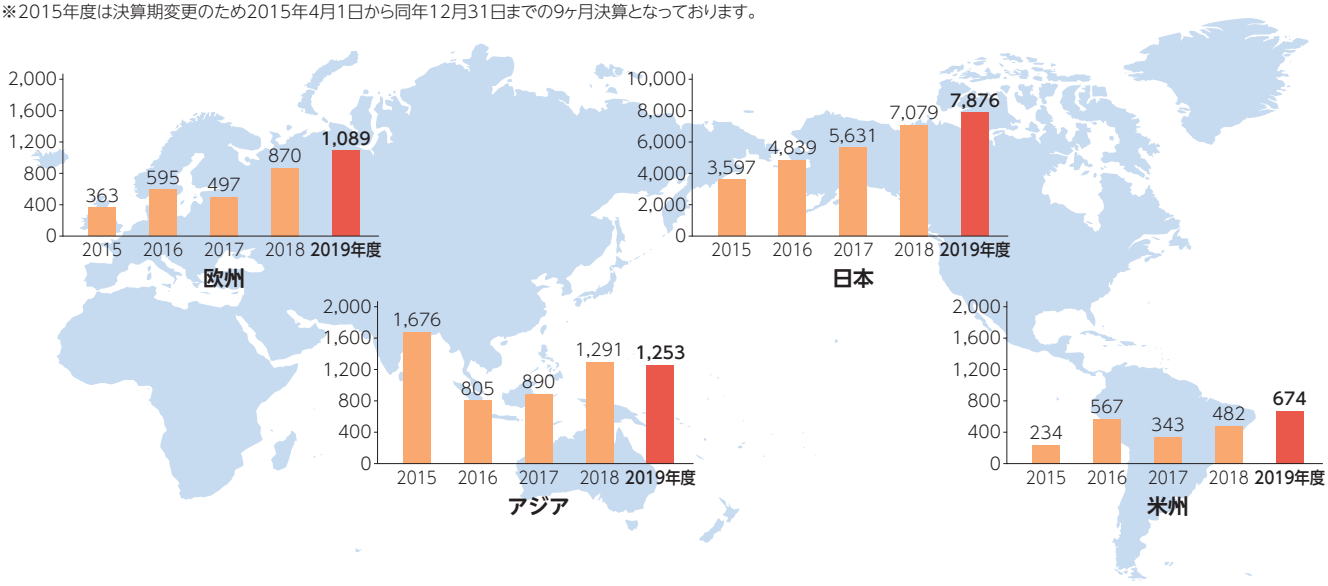


業種別売上構成比



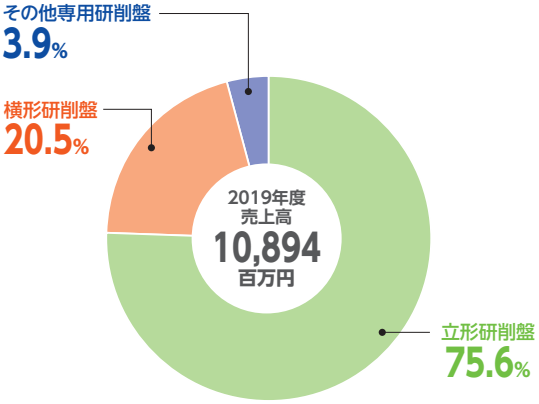
地域別売上高の推移 (単位:百万円)

※2015年度は決算期変更のため2015年4月1日から同年12月31日までの9ヶ月決算となっております。

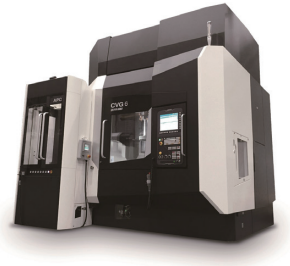


(注) 金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

品目別売上構成比



横形研削盤「IGH-2NT」



立形研削盤「CVG-9」

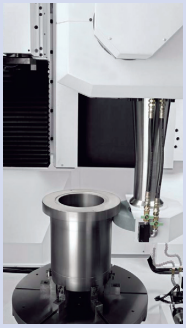
産業機械や工作機械関連企業向けの中・大型立形研削盤の受注が売上に貢献いたしました。

地域別売上高では、日本向けが72.3%、海外向けが27.7%となり、日本と欧州、米州において前期に比べ売上が増加いたしました。海外では、国内の自動車関連企業からの中国向け大口受注、欧州と米州の現地ユーザーからの受注が海外売上の増加に貢献いたしました。

業種別、品目別につきましては、産業機械や工作機械関連企業からは中・大型の立形研削盤で高生産型であるCVGシリーズやハイスペックマシンであるNVGHシリーズ、汎用機のVertical Mate®シリーズの受注を多数獲得し、売上増加に貢献いたしました。

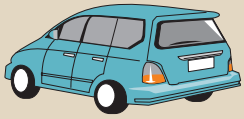
立形研削盤とは

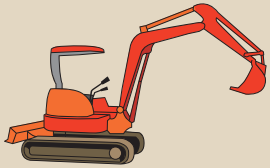
立形研削盤は、部品を重力に対して垂直方向に回転させて加工する方式の工作機械です。当社がもつ独自技術により1989年に業界で初めて開発・製品化し、現在は主力製品として国内でトップシェアを占めています。加工する部品を垂直に設置するため、段取りが容易であるばかりか重力の影響を受けず加工精度に優れた特性をもち、工場内の省スペース化にも貢献します。

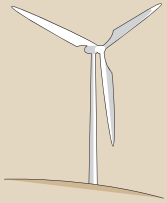


当社の研削盤が加工した製品は、こんなところで使われています。

当社の研削盤は、自動車や航空機、建設機械におけるエンジン部品やシャフト、ベアリング、風力発電設備の変速機といった重要部品の加工に利用されています。0.001mm単位で要求される精度に応えて、低燃費の実現や振動の抑制などによる乗り心地、安全性、長寿命等品質の向上に重要な役割を果たしています。

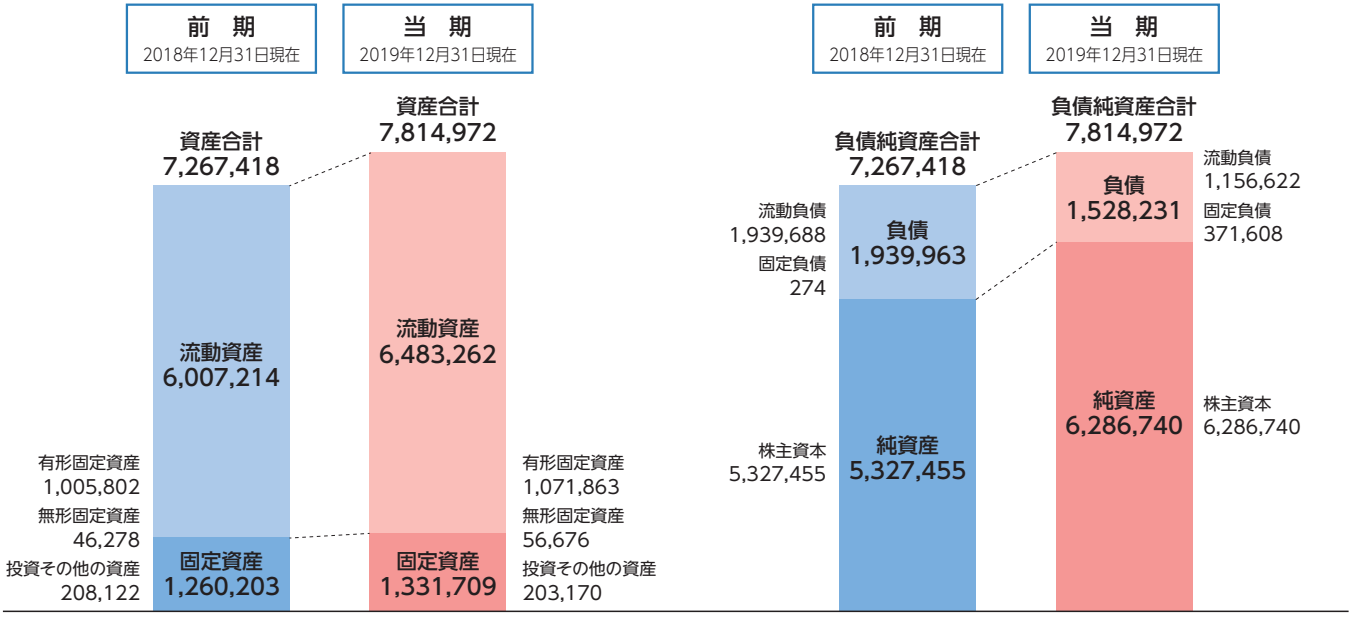




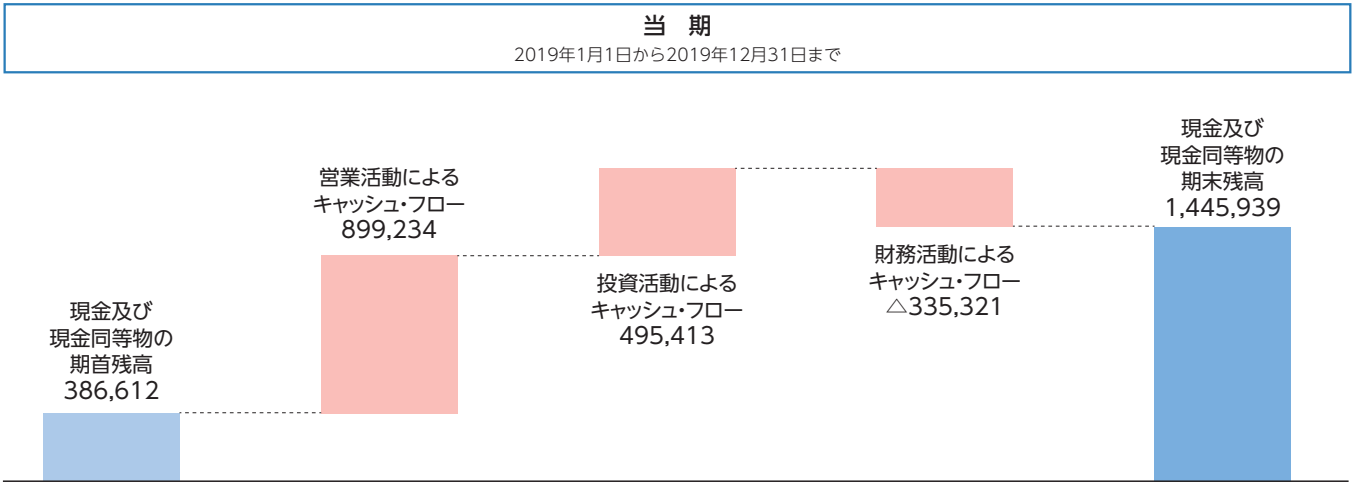


財務諸表

貸借対照表の概要 (単位:千円)

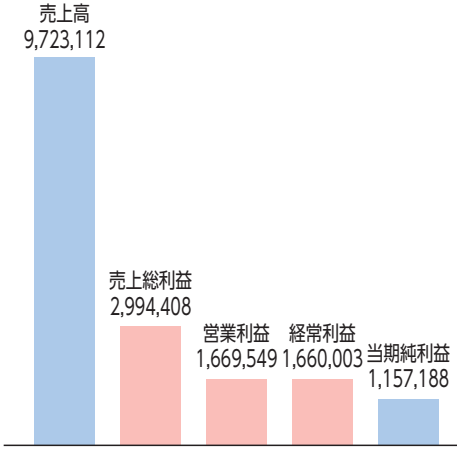


キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:千円)

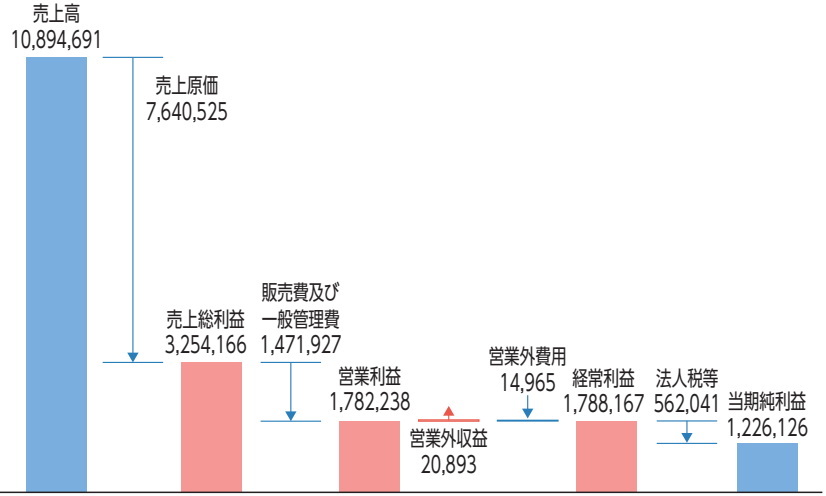


損益計算書の概要 (単位:千円)

前　期
2018年1月1日から2018年12月31日まで



当　期
2019年1月1日から2019年12月31日まで



株主資本等変動計算書 (単位:千円)

当　期 2019年 1 月 1 日から 2019年12月31日まで	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	700,328	387,828	129,601	517,429	4,121,825	4,121,825	△12,128	5,327,455	5,327,455
当期変動額									
剰余金の配当					△266,761	△266,761		△266,761	△266,761
自己株式の取得							△79	△79	△79
当期純利益					1,226,126	1,226,126		1,226,126	1,226,126
当期変動額合計	—	—	—	—	959,364	959,364	△79	959,285	959,285
当期末残高	700,328	387,828	129,601	517,429	5,081,190	5,081,190	△12,207	6,286,740	6,286,740

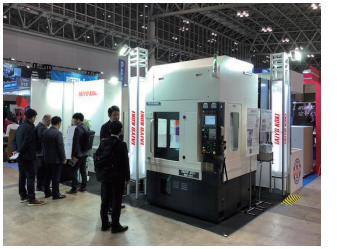
(注)金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

国内外の主要展示会に出展

～国内～

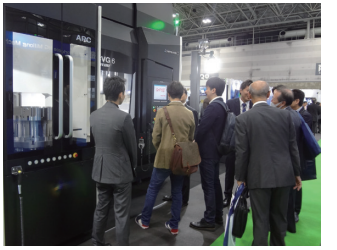
Grinding Technology Japan 2019

2019年3月18日～20日の3日間、千葉の幕張メッセにて日本で初めて研削加工に特化した展示会、Grinding Technology Japan 2019が開催され、当社は立形複合研削盤「IGV-3NT」を出展いたしました。研削加工に特化した展示会ということもあり、当社立形研削盤の技術力に対して高い評価をいただくことができ、会期中に受注及び多くの引合を獲得いたしました。当展示会は2019年以降、2年に1度開催されることとなっており、当社は継続して出展を行っていく予定です。



メカトロテックジャパン2019

2019年10月23日～26日の4日間、名古屋のポートメッセなごやにてメカトロテックジャパン2019が開催され、当社は垂直多関節ロボットを融合させた超小型立形研削盤「USG-2CL」を始め、立形複合研削盤「CVG-6」、「IGV-3NT」の全3機種を出展いたしました。当社ブースには前回を上回るお客様に来場いただき、特に垂直多関節ロボットを融合させた超小型立形研削盤「USG-2CL」のスマートロボットシステムは、お客様から注目を集めておりました。また会期中に多数の受注及び引合を獲得いたしました。



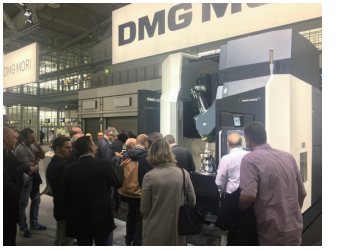
～海外～

CIMT 2019

2019年4月15日～20日の6日間、中国の北京にてCIMT 2019が開催され、当社は汎用立形複合研削盤「Vertical Mate®85」を出展いたしました。当社ブースには中国現地の産業機械関連企業のお客様に多く来場いただき、会期中に多数の引合をいただくことができました。

EMO Hannover 2019

2019年9月16日～21日の6日間、ドイツのハノーバーにてEMO Hannover 2019が開催され、当社は立形複合研削盤「CVG-6」を出展いたしました。当社ブースにはドイツを始め欧州の幅広い地域のお客様に来場いただきました。会期中には多くのお客様から具体的な引合をいただくことができ、今後の欧州での販売の拡大に向け、当社製品の技術力をアピールする絶好の場となりました。



当社は2020年も国内のみならず海外での展示会の出展数を増やし、当社製品の認知度の向上及び更なる拡販を推し進めてまいります。

会社の概要［2019年12月31日現在］ Corporate Data

会社名	株式会社太陽工機 (TAIYO KOKI CO., LTD.)
資本金	700,328,200円
設立	1986年3月14日
主な事業内容	工作機械(各種研削盤)の開発・製造及び販売
従業員	228名
ホームページ	http://www.taiyokoki.com
本社所在地	新潟県長岡市西陵町221番35
関連会社	DMG森精機株式会社

役員
(2020年3月27日現在)

代表取締役社長	渡辺　剛
取締役副社長	棚橋　基裕
専務取締役	小林　秋男
取締役	森　雅彦
取締役	柿沼　康弘
取締役	多賀谷　実
常勤監査役	大野　和彦
監査役	間瀬　宏
監査役	大野　義彰
監査役	佐藤　壽雄

株式の状況［2019年12月31日現在］ Stock Data

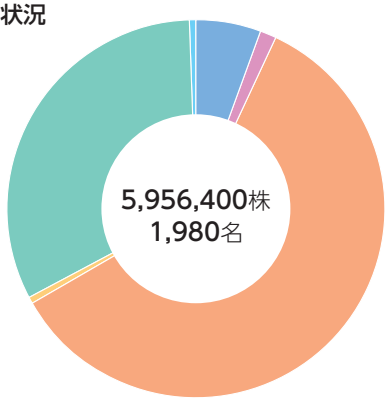
発行可能株式総数	18,000,000株
発行済株式の総数	5,956,400株
株主数	1,980名

大株主

大株主(自己株式は除く)	持株数(株)	持株比率(%)
DMG森精機株式会社	2,988,000	50.40
株式会社渡辺	304,000	5.12
渡辺　登	304,000	5.12
株式会社井高	216,000	3.64
太陽工機従業員持株会	161,500	2.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	143,800	2.42
株式会社第四銀行	80,000	1.34
株式会社三井住友銀行	80,000	1.34
第四北越証券株式会社	40,000	0.67
渡辺　剛	36,800	0.62

(注)持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(28,989株)を除いて計算しております。

所有者別分布状況



金融機関	336,300株	5.6%
証券会社	81,490株	1.4%
その他国内法人	3,562,000株	59.8%
外国法人等	30,000株	0.5%
個人・その他	1,917,621株	32.2%
自己株式	28,989株	0.5%

株主メモ

事業年度	1月1日~12月31日
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 TEL 0120-782-031（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.taiyokoki.com （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。）

ホームページのご紹介

http://www.taiyokoki.com

当社ではホームページにて当社の企業情報を随時開示しています。製品紹介、各種リンク、サポート情報等を掲載しているほか、IR情報のサイトでは決算短信等がご覧いただけます。

◀ youtubeチャンネル開設しました!

ネットワーク

<国内拠点>

本社・工場
〒940-2045 新潟県長岡市西陵町221-35
TEL. 0258-42-8808（代）　FAX. 0258-42-8810

東部営業所
〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-340 ウノビル7階
TEL. 048-658-8701　FAX. 048-658-8702

中部営業所
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅2-35-16
（DMG森精機株式会社内）
TEL. 052-563-1270　FAX. 052-563-1310

西部営業所
〒564-0052 大阪府吹田市広芝町4-1 江坂・美貴ビル8階
TEL. 06-6378-7166　FAX. 06-6378-7167

<海外拠点>

中国（上海）
No.178 West Yindu Road, Songjiang District, Shanghai
201612, China
TEL. +86-21-6764-8876

アメリカ（シカゴ）
2400 Huntington Boulevard Hoffman Estates, Illinois 60192
TEL. +1-847-593-5400

ヨーロッパ
Gildemeisterstrasse 60, 33689 Bielefeld, Germany
TEL. +49-5205-74-2233

タイ（アマタナコン）
700/146 Moo 1, Tambol Bankao, Amphur Panthong,
Chonburi 20160, Thailand
TEL. +66-38-468720-1

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915

VEGETABLE OIL INK